



【ニュース発刊にあたってのご挨拶】

淀川区・市政対策委員のみなと隆介（湊りゆうすけ）です。これから、毎週、私の近況や政治に関する思い、生い立ちなどを全て本人の原稿でご紹介します。みなと隆介という人間を丸ごと知って頂き、ぜひご近所の方々との対話の参考にさせていただけると幸いです。

【みなと隆介の近況】

流通大手系列のショッピングセンター運営会社に勤めています。10月21日が最終勤務の予定で、11月15日付に退職します。退職前の引継ぎ等で平日は仕事、土日で政治活動と忙しい毎日を送っています。

9日は党と後援会の決起集会を開催いただき、約40名にお集りいただきました。ご参加の皆様から励ましの言葉をいただき、勇気100倍。さらに、SNSを通じて参加してください。SNSを通じて参加してください。20代の青年が共産党を相談相手に行っている青年組織・民青同盟に加盟。嬉しい1日となりました。集会後は十三フレンドリー前で宣伝し、16名に参加いただきました。さらに新高地区の後援会員のお宅も訪問しました。



10月14日東三国駅で朝の宣伝に立つみなと隆介市政対策委員

【みなと隆介の視点】

南方駅北口、東三国駅北口にて実施。みなとの人となりや政策、日本共産党の国政・市政での提案などを訴えました。早朝からのご参加、本当にありがとうございます。引き続き、ますます元気に朝宣伝を実施していきますので、短時間でもどうぞご参加ください。

10月11日に「2025年の大阪万博における大阪府・市のパビリオン建築費が40億円増額」と報道。74億円で作る言っていたパビリオンの建築に115億円かかることが判明し、大阪府と大阪市が20億円ずつ折半して賄うそうです。

「実際にはもっとかかるが15億円まで圧縮した」というのが吉村知事の言い分ですが、なぜ当初想定74億円で圧縮すると決断できないのでしょうか？このパビリオン、ガラスの大屋根に水を流す、という贅沢な作り。私も綺麗なものは好きですが、公金投入を膨らませてまで当初計画にこだわる必要性が全く理解できません。

このような税金の無駄使いを止め、市民の暮らしや大阪経済を支える中小企業を応援するために税金や行政の力を使うような市政に切り替えるためにも、必ず淀川区の市会

議席を勝ち取る決意です。

【みなと隆介の生い立ち①】



私は1983年4月12日に熊本県人吉市で生まれました。母方の実家が、隣接する熊本県球磨（くま）郡

錦町にあったためです。ほどなく福岡県中間市に移り、その後福岡県福岡市へ。おぼろげに記憶が残っているのはこの頃からです。1つ違いの弟を連れて遠出したり、近所にあった少し危ない事務所に遊びに行ったり、5歳にしてお遣いに行き「グラム●●円の肉の方がお得なんだって」とわざわざ電話で親に問い合わせるような、少し活発で少し変わった子だったようです（次回に続く）

インフルエンザワクチン
65歳以上は無料になります。

昨年は1500円の自己負担でしたが、今年は無料になりました（65歳以上）。
期間：10月1日～1月31日
※委託医療機関での予約が必要です